

大学コンソーシアムとちぎ「宇都宮市創造都市研究センター オリジナル科目」

科 目 名	単 位	開講年次	開講期	教 員 名
デジタルコンテンツマネジメント論 (DCM) と技術経営論 (MOT)	2	2	後期	4 大学連携講座 (責任者：春日正男)

<授業の目標及びねらい>

市内の4大学が保有する特徴的な学術分野を連携し、宇都宮市の協力を得て、宇都宮の文化創造都市としての発展を目指し、必要な知識とスキルを学びます。中心となるデジタル技術をベースに、文化を拓く様々なデジタルコンテンツを知り、必要となるコンテンツ知識の習得、制作手法を経験します。さらに、クリエイティブなプロダクトやサービスを創造する方法を学びます。到達目標として、経済活性化によるビジネスを興し、まちを創り、コンテンツを利活用した豊かな市民生活の実現する知見を身につけます。

<準備学習>

授業時に指示するので、指定された資料に事前に目を通しておいてください。適宜レポートなどを課すので、授業時にしっかりと学習し、プレゼンテーションが確実に実施できるよう、事前の準備を望みます。

<授業の概要>

先端的デジタル技術をベースに、それが生み出す様々なデジタルコンテンツとその効用を知り、これをマネジメントすることにより、産業や文化へのイノベーションを創る方法論を学びます。まず、デジタルコンテンツの知識習得、利活用の検討を行う。つぎに、文化的価値を有する資源としてのアニメ、漫画などの芸術的資源の知識を学修し、創作、蓄積、保存について学びます。高付加価値なコンテンツを活用したビジネス展開、市民生活向上に役立つ利用などの視点から、体系的にデジタルコンテンツマネジメント(DCM)を学びます。これらの知識をもとに自分で考え、コミュニケーション力を向上させるグループディスカッションを行い、他人の優れた考え方を学び、最終的に自分で思考し、それを効果的に訴求するためのプレゼンテーション能力を磨きます。

<授業計画>

●会場：宇都宮共和大学

- 第1回 デジタルコンテンツマネジメントによる創造都市創生の目的と効果 (担当：作新)
- 第2回 先端的ICTが担うデジタルコンテンツの役割とその効用 (担当：作新)
- 第3回 先端的ICTが拓くデジタルコンテンツによる創造都市創生への期待 (担当：作新)
- 第4回 宇都宮市における情報化施策 (担当：宇都宮市)
- 第5回 オープンデータ活用による市民生活・コミュニティの活性化 (担当：宇都宮共和)
- 第6回 GISによるデジタルマップの作成 (担当：宇都宮共和)

●会場：文星芸術大学

- 第7回 デジタルコンテンツとクリエイティブアーツ概論（担当：文星）
第8回 デジタルコンテンツの制作1（担当：文星）
第9回 デジタルコンテンツの制作2と学修成果のプレゼンテーション（担当：文星）

●帝京大学

- 第10回 デジタルコンテンツとクリエイティブアーツ（担当：帝京）
第11回 デジタルコンテンツとクリエイティブアーツ（担当：帝京）
第12回 学修成果のプレゼンテーション（担当：帝京）

●作新学院大学

- 第13回 デジタルコンテンツのビジネス展開（担当：作新）
第14回 グループディスカッションと課題レポート（担当：作新）
第15回 総括・ビジネス展開応用の学修成果のプレゼンテーション（担当：作新）

〔成績評価法〕

3分2以上の出席を必須。各論における知識を深めるためのレポートの記述（30%）、グループディスカッション（30%）、プレゼンテーション（40%）とし、この内容により総合的に評価します。

〔学生へのメッセージ〕

この授業はデータや資料を見ながら自分で考え、また資料の追加調査を期待します。また、グループディスカッションにより他人の意見も参考に、自分で考察して作文し、さらにこれを分り易く発表する方法を学びます。この過程を通じ、大学の連携による多くの学生諸君が友達を知り、友達と交流を図るきっかけを作ることも期待します。

〔教科書 参考書〕 特にありません。ただし、授業中に開示することがあります。

【研究室】連絡先 電話：028-670-3731

mail：skkasuga@sakushin-u.ac.jp

【研究室（訪問先）】作新学院大学 中央研究棟 331号室